

CASBEE Sapporo2014v1.2
(仮称)ラ・クラッセ札幌N7W

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	竣工段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 騒音											
1.2 遮音											
1.3 吸音											
2 温熱環境											
2.1 室温制御											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
3 光・視環境											
3.1 昼光利用											
3.2 グレア対策											
3.3 照度											
3.4 照明制御											
4 空気質環境											
4.1 発生源対策											
4.2 換気											
4.3 運用管理											
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ											
1.2 心理性・快適性											
1.3 維持管理											
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震											
2.2 部品・部材の耐用年数											
2.4 信頼性											
3 対応性・更新性											
3.1 空間のゆとり											
3.2 荷重のゆとり											
3.3 設備の更新性											

CASBEE Sapporo2014v1.2

(仮称)ラ・クラッセ札幌N7W

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	竣工段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)											
1	生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	B		C			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1	建物外皮の熱負荷抑制	A					2.0	0.20			2.0
2	自然エネルギー利用	A					3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.98	4.3	0.50			4.3
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	A									
	集合住宅の評価(3c)	A				一次エネルギー消費率を満たしている。	4.3	1.00			
4	効率的運用						3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価										
	4.1 モニタリング	A									
	4.2 運用管理体制	A									
	集合住宅の評価						3.0	1.00			
	4.1 モニタリング	A					3.0	0.50			
	4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル											
1	水資源保護						3.0	0.20			3.0
1.1	節水						3.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30			
2	非再生性資源の使用量削減						3.1	0.60			3.1
2.1	材料使用量の削減		B				2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		B			乾式耐火間仕切壁など分別が容易な材料を使用している。	4.0	0.20			
3	汚染物質含有材料の使用回避						3.6	0.20			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用					有害物質を含まない材料を使用している。	5.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避						3.0	0.70			
1	消火剤		B								
2	発泡剤(断熱材等)		B				3.0	1.00			
3	冷媒		B								
LR3 敷地外環境											
1	地球温暖化への配慮		B			ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物と同等	3.7	0.33			3.7
2	地域環境への配慮						1.8	0.33			1.8
2.1	大気汚染防止		B				3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		B	C	D		1.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制						2.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制						3.0	0.25			
3	交通負荷抑制						1.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		B		D		3.0	0.25			
3	周辺環境への配慮						2.5	0.33			2.5
3.1	騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40			
1	騒音						3.0	0.33			
2	振動						3.0	0.33			
3	悪臭						3.0	0.33			
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40			
1	風害の抑制						1.0	0.70			
2	砂塵の抑制										
3	日照阻害の抑制						3.0	0.30			
3.3	光害の抑制						3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					光害となる照明を使用していない。	4.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30			